

# 明大前街づくり NEWS

## 第15号



### 写真の説明：

さる平成24年7月1日に、街づくり協議会第8回定時総会が開催されました。左の写真は、会長が議案の説明をしているところです。

発行日時：平成24年（2012年）9月11日  
発行者：明大前駅周辺地区街づくり協議会  
運営委員会発行

## 第8回定時総会が開催されました。

平成24年7月1日に、明大前駅周辺地区街づくり協議会の第8回定時総会が開催されました（注記1）。総会では、昨年度の活動報告と決算報告、および平成24年度の活動計画と予算が付議され、いずれも承認されました。平成24年度の活動計画の特徴は講演会や見学会を主体に行うという点です。本年3月末までに、当面の目標であった地区街づくり計画案の文書を纏め、区長に提案することができましたので、今後はそれを推し進めるための活動に移るといこととなります。また、事前に配布されました議案書の審議と裁決の後、いくつかの意見や動議が提出され、熱心な討議の後採決に付されました。

なお、上述の「明大前駅周辺地区街づくり計画案」は、世田谷区長に提出したものと同一ものを印刷し、既に会員の皆様には昨年度のうちに配布を完了しております。

以下、議事の状況を記載いたします。

### 1. 議案書にある議案の審議

#### 1-1 甲斐会長挨拶

冒頭、甲斐会長から、昨年度のうちに地区街づくり計画案を完成し、提出できたことの報告がありました。この点に関して関係者の尽力に謝辞がありました。

会長からは、続けて「この計画案は、区長のみならず、区議会議員の皆さんにも配布したところ、何名かの区議会議員さんからは、提案書を提出した後も、協議会を続けるべきであるという意見があった。もともと明大前はそのつもりであったので、意を強くした。区役所の方々からも、同様に、この会を続けた方が良いとの話ももらっているとの意見があった。

今年度は、活動計画案として本日付議される予定であるが、見学会などを軸とした活動を行ってゆく、すぐには効果が出ないような内容もあるが、皆さんよろしく」という旨のご挨拶がありました。

（注記1）開催日時 平成24年7月1日  
18：30開場、19時開始。  
20：50閉会。

総会における出席状況（開始時点）

会員総数 71名

出席者数 59名

うち 会場に出席19名、

委任状27名

議決権行使書13名。

なお、このほかに無効の委任状2通あり（会場に来ていない会員に委任する委任状であったため）。

総会開始後30分ほど経過したところで1名入室されましたのでその時点から出席者20名となりました。また例年参加されていた区役所の方は、今回の総会にはどなたも参加されませんでした。

## 1-2 出席者数等の報告

事務局長欠席のため、副会長の佐久間氏から、出席者の報告があり、会員数71名のところ委任状による出席を含めて59名が出席しており、会則に則って総会を開催でき、すべての議案を審議できることが報告されました。

## 1-3 議案の審議

会則に則りまして、副会長の佐久間氏と大庭氏が共同議長となる旨の説明があり会場から拍手がありました。

### (1) 第1号議案；平成23年度の活動報告

議案書に記載のある報告内容を、運営委員の中村氏が読み上げました。会場から特に質問はありませんでした。

### (2) 第2号議案：平成23年度の収支報告及び監査報告

運営委員の島崎氏から会計報告がありました。平成23年度は前年度までと異なり、区からの補助金がなかったことと、地区街づくり計画案の作成と印刷代金約14万円が広報活動の費用16万円余の中に含まれていることなどが報告されました。

これらの説明に対し、会場からは特に質問はありませんでした。

ここまでのところで異論がないことを議長が確かめ、昨年度の活動報告と会計報告は承認されました。

### (3) 第3号議案：駅前広場計画の区主催の説明会（平成24年4月実施）に関する報告

議案書にある報告事項を運営委員の愛宕氏が説明しました。世田谷区はこれまで広報や各種説明会で、駅前広場計画を作成するにあたっては、街づくり協議会や区民の意見を聞いた上で検討する と言っていました。完全に反故にされた形となっていることがわかりました。

会場からは、「世田谷区の平倉係長が議事を仕切っていたが、質問の処理の仕方は出席者の不満の残る内容であった」との意見が相次ぎました。司会者が質問を復唱して確認する段階で微妙に言いかえてしまって、質問者の質問にストレートに回答する形になっていないことに対する不満が多数聞かれたという意見がありました。

### (4) 第4号議案：「平成24年度の活動方針およびスケジュール案」議案書の内容について 甲斐会長からの議案の説明に対して、会場から質問がありました。

意見1：8月1日に予定されている世田谷区の都市計画審議会で駅前広場の関係が諮問されている、さらには東京都は9月4日の都の都市計画審議会に京王線の高架の計画を諮問している。この状況の中で、行政の理解の深耕をはかるとは、具体的にどうやってゆくのか？。諮問されている内容とは異なる意見を協議会を出しているが、この関係をどうやってゆくのかが課題である。

意見2：そもそも、協議会は発信力の点で劣勢にある。行政側は税金を投入し、仕事としてやっている。一方、協議会は住民のボランティアであり、資金力の制約もあるので発信力が劣るのはやむを得ないが、これを補う方法はないか検討すべきである。

意見3：5月21日に日本学術会議で開催された震災対応に関する学会に副会長と行ってき

たが、建築学会や土木学会は震災対応や街づくりなどで、協議会の意見に極めて近い。現在の行政の案は時代遅れで学会の席でも「コンサルタントから行政への提案内容が貧弱であることが多い」という趣旨の意見が学会の会長クラスの先生からも出ていた。我々の意見とあわせて、各種の研究者や学会の会長クラスがどんなことを言っているかを行政にも伝える努力が必要である。

質問：見学会をおこなうということだが時期はどうか？

回答：暑い時期を避けて、秋に行うのはどうか という意見がある。

挙手の結果全会一致で第4号議案は承認された。

#### (5) 第5号議案「平成24年度の予算案」

運営委員の柳氏より説明あり。見学会や勉強会でコンサルタントに来てもらうと、1回あたり4万円が相場と考えて、これが3回で合計12万円を計上した。

また広報などで資料を纏めるために費用が掛かると予想してそれらの費用も計上した。本予算案について、賛成する者の挙手を求め、全員一致にて承認された。

#### (6) 第6号議案 会則の改定（会費の1000円への値上げ）

議案書の説明の後、質疑応答を行った。

質問：平成25年度は新会員の募集をおこなうのか？会員が減る懸念はないのか？

回答：活動をきちんと行うことが大切である。会員をきちんと増やせるように活動をきちんとすることをかんがえたい。

この後、挙手により全会一致。

議案の審議はここで終了し、時刻はおおむね20時となった。

## 2. そのほかの質疑

議案書の審議が終了した時点で、会場からの自由な意見を議長が求めたところ、多数の意見や動議が出された。（紙面の都合により一部順不同で記載いたします。）

### 2-1 駅前広場に関して、区が別の場をあらたに立ち上げている件に関して

意見1：区役所は、駅前広場について協議会と話しをすると以前は言っていたが、新たに「街づくり懇談会」なる会を作りこちらで話しをする と言っている。協議会として区役所に抗議をしてほしい。

意見2：街づくり懇談会の方のみを、区役所が話し合いの相手として選んでいるのをただして欲しい。

意見3：2009年11月の世田谷区の広報誌である「街づくり通信」では、質疑応答の記載の中で「駅前広場計画には地域住民の意見が反映されるのか」という質問に対して「街づくり協議会を中心として意見を聞く」という記述がある。ところが、この4月の説明会の説明では「街づくり懇談会」なるものを作り、こちらを中心に話しを聞くという記述がある。地権者を中心とした説明会という位置づけならば話はわかるが、周辺を含めた話しをするのであれば、協議会と同じものを作りだして区役所意見を聞く方のみを相手にしてゆくというやり方が明らかである。

**動議#1：** かつて街づくり協議会の意見を聞く としていた各種の広報の記事や、区の公式の説明会における質疑応答などでも明確に「住民の意見を聞く」となっていたにも関わらず、昨今の資料や区役所の態度は街づくり協議会を無視する方向にあるように見える。この点について区役所の見解をただすことを提案する。

採決の結果委任状を含め賛成45名となり可決された。

2-2 区の広報誌(\*)に記載のある4月13日(金)および15日(日)の駅前広場計画の説明会における質疑の記録について(\*:世田谷区作成の「京王線沿線まちづくり通信 第11号」のことを指している。)

意見1: この広報誌の「質問事項7」は「協議会は駅前広場を求めています」は明らかに誤解を誘発することを念頭においた記述である。明大前駅周辺地区街づくり提案書では駅前広場の検討もしているし、適切な位置の提案もしている。烏山の協議会は広場の位置については記述をあえて行っていない。説明会から2か月半過ぎたが、公式の議事録がまだ公開されていないので検証ができないが、いつ、どの会場でのどの発言をどう要約したのか。各協議会の公の考えを知っている行政が、説明会における一部の、協議会の公式見解とは異なる発言だけをピックアップして広報誌に掲載するのは、「協議会というのは建設的な集まりではない」という印象を一般の住民に与え、その印象を悪くしようとする意図的な情報操作ではないのか?

意見2: 区役所の出している街づくり通信に掲載された議事内容は、どのような質疑をもとにして記述したのか確認を取る必要があるのではないか。

意見3: 区の広報にある「Q4」も、質問の趣旨を曲解して記載している。烏山では、駅前広場を鉄道敷に重ねてはどうかという趣旨の質問がなかったことを考えると、これは明大前の2回目の説明会における「鉄道が地下になっても、高架になっても、鉄道敷と駅前広場の敷地をかさねることによって立ち退きの面積を減らすことができるので、コスト減と立ち退き世帯数を減らすということが可能ではないか」と聞いたのであって、高架下は使えないかという、あたかも高架が前提となっているような質問はしていないし、鉄道が地下になった場合にはどうなのか ということへの回答を避けるための意図的な誤記であると考えられる。

意見4: 世田谷区の都市計画審議会が8月1日にあるので、上記の文書作成や質問などは迅速に行うべきである。

意見5: 区長が、積算根拠を開示請求したのに、東京都が黒塗りの資料を出してきたとされる件についても、不自然ではないか という指摘を行って欲しい。

意見6: (世田谷区が4月に行った駅前広場に関する説明会の) 議事録が2か月以上たっても作成されていないのは問題ではないか。議事録もないまま世田谷区の都市計画審議会をおこなうのか、区に問いただすべきである。

意見7: 区の都市計画審議会の委員に、審議会の前に資料を渡すべきである。

**動議#2:** 世田谷区の広報誌「街づくり通信」に掲載された4月の駅前広場計画の説明会における質疑応答の記事に関し、Q7とQ4には、情報操作の意図をもって行われた意図的な誤記がある可能性があり、世田谷区及び区長に対して事実の確認と、必要に応じて訂正の要求などを行うこととする。意見2~7も踏まえ、申し入れの文面や具体的な方法は運営委員会に一任する。

採決の結果、会場で18名、委任状27名の賛成45名となり、賛成多数で本動議は可決された。

**動議#3:** 来年度、地区街づくり計画実現のための活動助成金及び街づくり専門家派遣の予算を、平成24年9月に世田谷区に申請したいと思うので決議願いたい。

採決の結果、全会一致で申請することとなった。

動議#3の採決の後には、意見などが出尽くした感があったので、議長が討議の終了を宣言した。

引き続き大庭副会長から閉会の挨拶があり、今回の総会は20時50分に閉会した。

### 参考：今後の協議会の日程

基本的には、第2火曜日の18:30開始です。

7月10日(火)、8月21日(火)、9月11日(火)、  
10月9日(火)、11月13日(火)、12月11日(火)。

このほかに、講師の先生を呼んでの勉強会や、他地区の見学会などの日程が概略で決まっています。現時点では、10月20日(土)午後と、11月13日(火)の合同部会の際に見学会・勉強会をおこなうことがおおよそ決まっています。詳細は正式決定後迅速にお知らせすることといたします。



明大前街づくりNEWS第15号 平成24年(2012年)9月11日発行

明大前街づくり協議会 〒156-0043 世田谷区松原2-45-1

明大前ピースメーカーズボックス内 電話:03-3323-8121、fax:03-3323-6514

街づくり協議会のネット上の住所は [meidaimaemachizukuri.org](http://meidaimaemachizukuri.org) です。